

# 学びのR

No. 4 O (令和3年3月)  
埼玉県教育局南部教育事務所  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「reform(改革)」の頭文字です

## \*\* 「指導と評価の一体化」で授業改善⑬ \*\* ～ 「特別活動」(小学校)編～

※「指導と評価の一体化」の視点から、「評価の手順」、「評価体制の確立」、「評価補助簿の例」について整理します。

埼玉県マスコット「コバトン」



### 特別活動の学習評価の基本的な考え

【「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校特別活動(以下※1) p.39 引用】

- 特別活動の特質と学校の創意工夫を生かすということから、各学校が評価の観点を定めます。
- 学級担任以外の教師が指導することも多いため、評価体制を確立し共通理解を図って児童のよさや可能性を多面的・総合的に評価します。
- 評価を通じて、教師が自己の指導の内容や方法、指導過程等を振り返り、より効果的な指導が行えるような工夫改善を図ります。

### 評価の手順

【※1 p.39 引用】

① 指導と評価の計画の作成

・特別活動の全体計画及び各活動・学校行事ごとの指導と評価の計画を作成する。

② 評価のための基礎資料の収集

・計画に基づいて、評価のための基礎資料を収集する。

③ 評価の実施

・収集した資料を各学校で定めた所定の手続きにしたがって多面的・総合的に判断し、評価を行う。

④ 評価体制の改善

・**評価結果**を各学校における**指導や評価体制の改善に生かす**。

### 評価体制の確立

【※1 p.39 引用】

○特別活動の全体計画及び各活動・学校行事ごとの指導と評価の計画を基に多くの教師による評価を反映させるなど、学校としての評価体制を確立することが大切です。

学級活動において

主として学級担任が事前から事後の振り返りまでの児童の活動の様子から、積極的によさや可能性を見取るようにする。

児童会活動、クラブ活動、学校行事において

※評価に必要な資料を収集する方法を工夫するとともに、それらが学級担任の手元に届き、活用されるようにする。

学級担任

学級担任以外の教師

※個々の児童の活動状況について、学級担任と担当する教師との間で情報交換を密にする。

※**必要に応じて評価した結果を全教師で共有し、指導に生かす**ことができるようにする。

## 学級活動(1)における評価補助簿の例

【※1 p.50 引用】

○どの議題にも共通する項目を定めて評価し、機会を捉えて、顕著な事項を見取って記録した結果が、学期や年間を通して一覧で見られるようにした評価補助簿の例です。

		知・技	思・判・表	主体的態度	メモ	総括
名前		話し合いの進め方、まとめる方法を理解しているか等を見取る。	意見のよさを生かしたり、創意工夫したりして、発言したりしているか等を見取る。	決めたことや自分の役割を友達と協力し、意欲的に取り組もうとしているか等を見取る。	<p>どのような姿を見取るのかを補助簿に具体的に示しておくことも考えられる。</p> <p>一連の学習過程を通して、児童の様子を観察やノートの記述等を参考にしながら、機会を捉えて評価する。また、十分満足できる活動の状況の場合、その都度、メモ欄に日付や様子を記述する。</p>	
1	A	○	○	○○	7/16集会の準備を休み時間に一生懸命行い、全員分のメダルを作っていた。	○
2	B	○	○	○	9/17学級会では、みんなが納得するアイデアを改善策として発表していた。	○
3	C					

○やメモの記述がない児童について、児童のよさを積極的に見取るために、**機会を捉え重点的に評価したり、課題を把握し個別の指導を図ったりし、評価を指導に生かす**ことが重要である。

## 学級活動(2)(3)における評価補助簿の例

【※1 p.56 引用】

○教師の観察や学習カードの記入を参考に、機会を捉えながら評価し、それを記録した評価補助簿の例です。学級活動(2)、(3)においては、「現在の生活上の課題」「現在及び将来を見通した生活や学習の課題」という違いはありますが、基本的な学習過程が同じであることを踏まえ、同じ補助簿を用いることもできます。

		知・技	思・判・表	主体的態度	メモ	総括
1	A			○	4/11 4年生の生活を見通した目標を設定していた。	
2	B		○○	○	5/13具体的な目当てを設定し、進んで挨拶をしていた。9/11ゲームをする時間について具体的な行動目標を設定していた。	○

【メモによる評価の蓄積】○を付けて評価した児童の姿を記録しておくことも考えられる。メモを蓄積することで、総合所見及び指導上参考となる諸事項に書く際に生かすことができる。

【学級活動(2)(3)の総括について】総括して○を付ける際には、学校で統一した方法を予め設定しておくことが必要である。例えば、上記の表のように知識・技能に○が付いていなくても、思考・判断・表現、主体的態度において、複数○が付いている場合、総括においても○を付けることも考えられる。

引用・参考

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校特別活動  
国立教育政策研究所



「学びのR」  
はこちらからも  
御覧いただけます！

